# ４．１７　防災教育『学校再開』

１　趣旨

２０００年４月１７日は、噴火による避難で地域、保護者、子どもそれぞれが混沌とした状態だった。避難所などを回りながら保護者と話している中で、学校はいつからはじまるのなど親子共に不安が広がる中、豊浦、長万部両小学校の一部を間借りして、虻田小学校、洞爺湖温泉小学校豊浦、長万部教室として学校が再開された。避難所生活という非日常の毎日から、学校を再開することのよって友だちと一緒に勉強したり、遊んだりと唯一日常を感じられる生活を子供たちが得ることができた。その節目を大切にすることによって子どもの噴火災害時の混沌としていた心の中の整理をして災害を改めて受け入れられるようにしていくことが大切である。

その節目の日に防災に関わる学習をすることにより児童の防災意識を高められるようにする。また、参観日の公開授業で防災教育をすることにより、その後行われる引渡し訓練の意味付けと理解を同時に図ることが出来るのではないか。

この防災教育で今年度防災教育を全校的に実施していくという意識を子供たちにもってもらい。

２　日時　　４月２０日（火）　　９：３５～１０：００　全校指導
　　１０：００～１０：２０　引渡し訓練

３　場所　　プレイルーム

４　内容

有珠山噴火の基本的なしくみをしる（なぜ　なに　有珠山のビデオ鑑賞）
引渡し訓練

５　指導の流れ

①全校児童がプレイルームに集合
　地区別に集まる⇒　引渡し訓練との関係で
②４．１７のことを簡単に説明する
③なぜ　なに　有珠山のビデオをみる
④児童、保護者に引き渡し訓練の意味を説明する
⑤引渡し訓練（詳細は別紙）
⑥引渡し訓練が終了し次第、児童は教室へ

６　その他

プロジェクター　スピーカー関係の準備